

# 新年のごあいさつ

～共に挑み、共に創る。  
福井の持続的成長に向けて～



福井商工会議所  
会頭 八木 誠一郎

新年明けましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては、ご健勝の  
うちに新春をお迎えになられたことを  
心よりお慶び申し上げます。本年もよ  
ろしくお願ひします。

さて、一昨年に開業いたしました北  
陸新幹線の好機を一過性のにぎわいで  
終わらせず、持続的な地域発展へと結  
実させることが極めて重要でありま  
す。

福井商工会議所では、地域資源の潜  
在力を掘り起こし、「越前おろしSO  
BARプロジェクト」「ふくトウク」「ふ  
くのね」等を通じ、新たな食文化の発  
信やまちなか周遊の促進、体験型観光  
の展開など、多彩なにぎわい創出事業  
に取り組んでいます。また、まちなか  
リノベーションも確実に進展し、県都  
まちなか再生ファンドの認定件数は50  
件に達するなど、まちは着実に変化を  
続け、新たな魅力が県内外へ広がり  
を見せており、今後もファンドの積極  
的な活用を推進していきたいと考え  
ています。

さらに、地域間の経済交流も活発化  
しており、北陸技術交流テクノフェア

では沿線地域からの出展が1.4倍に  
増加するなど、人流・商流の活性化が  
地域経済に新たな可能性をもたらして  
います。また、北陸新幹線小浜・京都  
ルートによる大阪延伸の早期認可・着  
工に向け、北陸圏・関西圏の商工会議  
所と連携を強化し、機運醸成に引き続  
き努めていく所存です。

今後も、これらの取り組みを一層深  
化し、新幹線開業効果を「点」から「面」  
へと広げ、福井が持続的成長を遂げる  
ための確固たる基盤を築いてまいりま  
す。その中核となる「福井アリーナ  
(仮称)」の整備は、地域の魅力向上と  
交流人口拡大に資する重要な事業であ  
り、官民一体となって本年も着実に推  
進してまいりますので、会員の皆様  
には、引き続きのご支援とご協力をお願  
い申し上げます。

一方、物価・労務費の高騰、国際情  
勢の不安定化、地政学リスクの顕在化  
など、企業経営を取り巻く環境は一段  
と複雑化し、先行きには依然不透明感  
が漂っております。当所では、こうし  
た環境変化に柔軟かつ強靱に対応し得  
る経営基盤の構築に向けて、様々なサ

ポート事業を展開してまいります。

特に本県では、全国トップの有効求  
人倍率が続き、労働供給制約社会の最  
前線に立つ中、人手不足を起因とした  
防衛的賃上げが避けられない状況にあ  
ります。これを収益拡大を通じた持続  
可能な賃上げへ転換すべく、県の収益  
力強化事業補助金の活用を促進し、3  
年間で670社超を支援、平均付加価  
値額12%超の向上という成果も現れて  
います。補助金申請サポートをはじめ  
経営戦略の転換、新規事業の創出、デ  
ジタル化、省人化・省力化、リスクリ  
ングなど、企業の「稼ぐ力」強化に向  
けた付加価値向上支援を一層推進して  
まいります。

企業が持続的に成長するためには、  
自社の強みを見いだし、果敢に挑戦を  
続ける姿勢が不可欠です。当所はそう  
した挑戦に寄り添い、伴走支援を深化  
させることで、地域経済の未来を皆様  
とともに切り拓いてまいる所存です。

結びに、本年が皆様にとりまして実  
り多く、希望に満ちた一年となります  
よう心より祈念申し上げます、新年のご挨拶  
といたします。

# 新年のごあいさつ

～ 変革と価値共創による日本経済の再出発～



日本商工会議所

会頭 小林 健

明けましておめでとうございます。  
2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99・7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスロー

ガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためには、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承

継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを心より期待いたします。

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。